

指定管理者評価シート

事業名	都心まちづくり推進費	所管課(電話番号)	まちづくり政策局政策計画部都心まちづくり推進室(211-2692)
-----	------------	-----------	-----------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市北3条広場	所在地	札幌市中央区北2条西4丁目及び北3条西4丁目
開設時期	平成26年7月19日	延床面積	約2,800㎡
目的	札幌の都心において、市民等に多様な活動や休憩・滞留ができる場を提供し、都心全体のにぎわいを創出することにより、集客交流の活性化と独自の都市文化の創造を促進し、もって札幌の魅力と活力を高めるとともに、より豊かな市民生活を実現することを目的とする。		
事業概要	広場を使用に供すること。その他広場の設置目的を達成するために必要な事業。		
主要施設	広場		
2 指定管理者			
名称	札幌駅前通まちづくり株式会社		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	<p>非公募</p> <p>非公募の場合、その理由： ■「団体の役割と両施設の設置目的・機能が一致する」 札幌駅前通まちづくり株式会社(以下「駅まち会社」という。)は、沿道地権者等が主体となって設立された駅前通地区における唯一のエリアマネジメント団体であり、「札幌駅前通地区を将来にわたり魅力ある都心の「顔」として育て、継続的かつ恒常的ににぎわいある地域づくりを進めるとともに、周辺地区と連携を図ることにより相乗効果的にまちづくりの効果を波及させ、ひいては都心全体の活性化を目指す」ことを理念に掲げている。そして、この理念を実現させるため、駅前通を地下歩行空間、北3条広場などの地上地下空間を活用し、歩行者にとってにぎわいを感じる通りとすることなどを活動の目標としている。</p> <p>地下広場は、札幌駅前通地下歩行空間に多目的に活用できる空間を提供し、札幌の目抜き通りにふさわしいにぎわいを創出することにより、集客交流の活性化、新たな産業の育成及び独自の都市文化の創造を図り、市民生活の向上に寄与することを目的として設置されている。また、北3条広場は、市民等に多様な活動や休憩・滞留ができる場を提供し、都心全体のにぎわいを創出することで、集客交流の活性化と独自の都市文化の創造を促進することを目的として設置されており、両施設共に、駅まち会社がエリアマネジメントを進める駅前通地区内に設置されている。駅まち会社はこれまで、沿道ビルの建替時における地下歩行空間との接続検討の支援のほか、両施設を一体として活用するイベントの開催など、地下及び地上をつなぐ回遊性の向上を促進してきた。</p> <p>また、平成28年度には、地権者と共に協議を進め、「札幌駅前通エリアビジョン」を策定している。これは、「地下歩行空間のにぎわいを地上へと波及」させ、「北3条広場から歩道、路地、民地内の公開空地をつなげ、人々が出会う空間を増加」させることなどにより、地域価値の向上を図り、駅前通地区をより多くの人々が訪れ、交流するまちへと成長させていくことを内容としている。このことは、札幌市が平成28年5月に策定した「第2次都心まちづくり計画」が目指す「駅前通(にぎわいの軸)の強化」・「都心強化先導エリアの形成」・「地上・地下の重層的ネットワークの形成」に寄与する取組であると同時に、両施設の機能発揮に著しく有効なものである。</p> <p>以上のとおり、駅まち会社と両施設の関係は密接不可分にあるほか、駅まち会社の役割と両施設の設置目的・機能が一致することから、駅まち会社が両施設を一体的に管理運営することが妥当と認められる。</p> <p>■「これまでの管理が良好に行われている」 駅まち会社は、平成22年度から地下広場の、平成26年度から北3条広場の運営をそれぞれ設置当初から行ってきており、中心市街地の地下及び地上に設置された両施設を効果的に運営するノウハウを蓄積し、人材育成も図ってきているほか、積極的な広報活動等を行う中で、地下広場は当初の目標をはるかに上回る稼働率を維持しており、北3条広場も年々稼働率が上昇し、都心における回遊性の向上やにぎわい創出に大きく寄与している。</p> <p>また、駅まち会社は、本市の出資団体であるほか、その構成員に札幌駅前通振興会、沿道地権者や地区に隣接した企業が含まれているため、各関係機関と連携・調整する高い能力を有しており、これまでの間、両施設の適切な活用・管理を行ってきた。</p> <p>さらに、駅まち会社自らの企画により、地下広場において道産品の魅力を国内外に効果的に発信するマルシェ事業のほか、北3条広場において歴史的・文化的価値が高い空間特性に合ったフラワーカーペット事業を開催するなど、数多くの自主事業を開催し、両施設の機能発揮に取り組んできた。</p> <p>以上のとおり、駅まち会社は、指定管理者として両施設の管理運営を適切かつ良好に行ってきた実績がある。</p>		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	統括管理業務、施設・設備等の維持管理に関する業務、事業の計画及び実施に関する業務、施設の利用等に関する業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和3年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価																
1 業務の要求水準達成度																			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>北3条広場の行政計画上の位置付けや、重要性に鑑み、①札幌の歴史・文化を象徴する空間としての価値創造の推進、②道庁赤れんが庁舎の眺望や周辺環境に配慮したデザインの創出、③北3条広場を起点とした新たなまちづくりシステムの構築、④効率的な管理運営の推進を基本方針とした。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>北3条広場が公の施設であることに鑑み、平等利用及び透明性の確保という方針のもと、市民の公平利用及び管理運営の透明性の確保に注意を払っている。幅広い情報媒体を使つてのプロモーション活動や電話等での簡便な申請手続きを確立することで、利用機会の増進及び均等化を図った。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>北3条広場が環境に与える影響を十分に考慮し、省エネルギー及び省資源化の推進による温室効果ガスの排出抑制その他、環境への負荷軽減に努めている。</p> <p>▼日常業務におけるOA機器の省エネモード設定及び不使用時の電源断を徹底した。</p> <p>▼業務のIT化を図ることで、業務時間の短縮による省エネルギー及びペーパーレスによる省資源化を図った。</p> <p>▼ごみ減量のため、ミスコピー紙の裏面活用を徹底した。</p> <p>▼備品については、グリーン購入ガイドライン指定品を購入するよう心がけた。</p> <p>▼清掃業務において、毒素を含まない洗剤を使用するなど、各業務遂行にあたり必要となる備品・消耗品等については、環境に配慮した製品を採用するよう心がけた。</p> <p>▼広場の利用者にはゴミの持ち帰りをお願いした。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>地域関係者と連携しながら業務を行うことを重視し、効率的かつ安定した運営ができる組織を確立した。指定管理者として適切な業務運営を実施するために、統括マネージャー1名を責任者に、担当職員を2名配置した体制とし、業務に万全を期した。また駅前通地下広場の管理スタッフの応援も得て、業務を遂行した。またまちづくり活動を担う人材を育てるため、又、公の施設の管理活用を担う組織の社員としてのホスピタリティ向上、業務スキル向上等のため、他地域のエリアマネジメントの事例調査や研修も実施した。</p> <p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>社員に対し各種研修を実施することにより、実務能力の向上を図るとともに専門性向上の取組も行っている。労働関係法令を遵守し社員の労働環境を確保するとともに、定期的なミーティングの開催により社員間の情報交換を行うことで問題点の把握や業務の見直し等を行った。また北3条広場は2つの民間施設に隣接しているため、双方の関係者とは密に連携をとることとした。</p>	<p>基本方針を踏まえ、北3条広場において適切な運営ができた。</p> <p>市民の平等利用は適切に確保できた。コロナ終息を見据えたPRを今後は検討していきたい。</p> <p>全社員が常に節電や省資源化の意識を持って業務に当たることができた。</p> <p>官公庁や地域関係者との連携や調整が適切に図れた。</p> <p>職員の専門性の向上は段階的に進んでいる。社内ミーティングも適切に行われている。特殊なイベントを実施する際には、隣接する施設への情報提供を重点的に行った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">○基本方針に則り、適切に運営されている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○基本方針として、北3条広場を起点としたまちづくりについて定めており、エリアマネジメント組織として有する地域内のネットワークを活かし、地域関係者や広場に隣接するビル関係者と密に連携しながら管理運営を行ったことは、施設の設置目的の達成に大きく寄与するものであり、高く評価できる。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○苦情や問合せについては丁寧な対応を行っており、札幌市に直接苦情が入ることはなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	○基本方針に則り、適切に運営されている。				○基本方針として、北3条広場を起点としたまちづくりについて定めており、エリアマネジメント組織として有する地域内のネットワークを活かし、地域関係者や広場に隣接するビル関係者と密に連携しながら管理運営を行ったことは、施設の設置目的の達成に大きく寄与するものであり、高く評価できる。				○苦情や問合せについては丁寧な対応を行っており、札幌市に直接苦情が入ることはなかった。			
A	B	C	D																
○基本方針に則り、適切に運営されている。																			
○基本方針として、北3条広場を起点としたまちづくりについて定めており、エリアマネジメント組織として有する地域内のネットワークを活かし、地域関係者や広場に隣接するビル関係者と密に連携しながら管理運営を行ったことは、施設の設置目的の達成に大きく寄与するものであり、高く評価できる。																			
○苦情や問合せについては丁寧な対応を行っており、札幌市に直接苦情が入ることはなかった。																			

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

複数の見積徴取によるコスト削減及び適切な監督を行う事を基本方針としたうえで、高水準のサービスやノウハウを有する事業者の一部の業務を委託している。各委託業者には月次報告書、完了報告を提出してもらい、履行確認をしている。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容	
第1回	6/24	・令和2年度の稼働状況 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うキャンセル状況 ・その他
第2回	10/1	・広場利用状況 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うキャンセル状況 ・その他
第3回	12/21	・広場利用状況 ・セルフモニタリングの実施状況
第4回	3/15	・広場利用状況 ・その他
<p><協議会メンバー></p> <p>札幌市まちづくり政策局総合交通計画部都市交通課、札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室、地域代表者、札幌駅前通まちづくり株式会社</p>		

▼ 関係機関一覧表を作成し、必要に応じて連絡調整を行った。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、税理士による外部チェックを導入している。
現金等の取扱いについては、現金取扱規定を整備しているが、利用料金の金額が高いため、利用者には振込対応をお願いしている。

▽ 要望・苦情対応

要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、全社員に周知している。回答内容を全社員で共有している。問合せについては、3日以内に返答するようにしている。電話によるものについては、受けた者が情報共有ツールに回答内容も含めて記入し、情報共有している。
また問合せ・要望については、月次報告書で広場管理者に報告し、札幌市関係部局にスムーズに引継ぐことができた。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼ 管理運営業務に関する記録や帳簿類は、年度ごとに適切に整備し、仕様書に定められた期間及び当社の規程に則り、適正に管理・保管した。
▼ 札幌市の業務検査は、12月に実施されたが改善事項は特になかった。
▼ 広場利用者アンケートや自主事業実施時にアンケートを実施し、要望、意見については記録を作成し、広場の利用促進等に役立てた。

委託業者の監督・指導を怠りなく実施し、日頃の情報交換を密に行った結果、突発的な事象等に際しても、遅滞なく対応できた。

運営協議会を設置し、管理業務等の状況報告を行った。運営協議会のほかにも、札幌市及び関係機関とは定期的に協議の機会を持ち、連携した。

資金管理は適正に行った。

管理運営業務に関する苦情は寄せられなかった。問い合わせに対しては適切に対応できた。

いずれも適切に行った。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>施設の供用時間が9時～21時と長時間に及ぶこと、イベントの開催や設営・撤去等で不規則な勤務時間や土日祝日勤務の必要があることから、社員においてシフト制を適用し、業務の実行に支障のないよう、効率的かつ柔軟な勤務形態とした。勤務条件等については、労働基準法及び当社就業規則等を遵守し、社員それぞれの希望に応じて、「仕事」と、子育て地域活動等の「OFFの時間」の調和がはかれる状態を考慮した。</p> <p>▼ 週休2日(4週8休)に加え、月1日程度の休日を取ることができる勤務シフトとした。</p> <p>▼ 施設で働く職員(アルバイト含む)に対し、最低賃金889円(令和3年10月1日発効)を上回る1,000円以上の時給を支給した。</p> <p>▼ 施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜業をさせた場合、それぞれ法定割合の割増賃金を支払った。</p> <p>▼ 施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守した。</p> <p>▼ 施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届けた。</p> <p>▼ 全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。</p> <p>▼ 労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。</p> <p>▼ 1年に1回定期健康診断を実施した。</p> <p>▼ 労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。</p> <p>▼ 指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。</p> <p>▼ 更に育児や介護をしながらでも安心して就業できる環境整備を行うことが重要であるという認識のもと、子育て世代への支援手当の支給や、法令上は無給でも差し支えない看護休暇の有給休暇化、育児・介護を行っている社員に対する就業時間の弾力的運用など、様々な施策を実施した。</p> <p>▼ 職員個々が市民サービスの向上、管理経費の縮減に意欲をもって取り組めるような、効率的かつ柔軟な労働環境(例:時差出勤など)を整えた。</p> <p>▼ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、速やかにグループごとの分散出勤・在宅勤務を始め、広場の管理に支障が出ないように配慮した。</p> <p>▼ 在宅勤務を円滑に行えるよう、セキュリティに十分配慮した上で、データ等を自宅からでもアクセスできるようにした。</p> <p>▼ 第三者委託により実施している業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</p>	<p>労働関係法令を遵守するとともに、ワーク・ライフ・バランスを意識した。コロナ禍で厳しい中でも雇用や職員の給与に影響を与えることはなかった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 177 1400 203">A</th> <th data-bbox="1400 177 1448 203">B</th> <th data-bbox="1448 177 1496 203">C</th> <th data-bbox="1496 177 1544 203">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1352 213 1544 406">○職員間のコミュニケーションの促進やワークライフバランスの向上などの取組が推進されている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1352 427 1544 697">○子育て世代への支援手当の支給、看護休暇の有給休暇化をはじめとした取り組みについては労働環境向上に大きく寄与しており、高く評価している。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1352 718 1544 1083">○新型コロナウイルス感染拡大により経営環境が厳しい状況においても雇用や給料に影響を与えることがなく、また分散出勤・在宅勤務を取り入れることで、感染拡大防止に取り組んできたことは高く評価できる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	○職員間のコミュニケーションの促進やワークライフバランスの向上などの取組が推進されている。				○子育て世代への支援手当の支給、看護休暇の有給休暇化をはじめとした取り組みについては労働環境向上に大きく寄与しており、高く評価している。				○新型コロナウイルス感染拡大により経営環境が厳しい状況においても雇用や給料に影響を与えることがなく、また分散出勤・在宅勤務を取り入れることで、感染拡大防止に取り組んできたことは高く評価できる。			
A	B	C	D																
○職員間のコミュニケーションの促進やワークライフバランスの向上などの取組が推進されている。																			
○子育て世代への支援手当の支給、看護休暇の有給休暇化をはじめとした取り組みについては労働環境向上に大きく寄与しており、高く評価している。																			
○新型コロナウイルス感染拡大により経営環境が厳しい状況においても雇用や給料に影響を与えることがなく、また分散出勤・在宅勤務を取り入れることで、感染拡大防止に取り組んできたことは高く評価できる。																			

			A B C D
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>利用者の安全については、事前に打合せを行い、図面及び作業届出書を提出してもらった。また適宜現場確認を行った。さらに、関係各部署や近隣事業者と調整を行い、利用がスムーズに行われるように心がけた。損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。拾得物取り扱いについては、一定期間まち会社で保管した後、最寄りの交番に届けた。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>毎日の清掃時に、チェックをし、異常があれば関係各部署に報告をした。また月2回電気設備の点検を行い、適切な状況で利用いただけるように心がけた。清掃、電気の保守点検、除排雪については第三者委託により実施した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>防災研修:令和4年2月17日(木)に実施隣接する地区で活動する協議会の主催。豊平川を管理する北海道開発局から提供される最新の情報を得て、当社が事務局を務める札幌駅前通地区防災協議会の活動や対策に役立て、新しい防災の考え方について学ぶため研修を実施した。緊急時対応マニュアルを基に、社内研修も実施した。また消火器も社内に備え、広場での異常時にはすぐに持ち出しできる体制とした。また当施設は一時退避場所であることから、近隣商業施設の避難訓練の場所としても積極的に受け入れるとともに、訓練にも参加した。</p>	<p>利用者の安全のため、適切な運営を行った。</p> <p>外部に委託しているものも含め適切な維持管理ができた。</p> <p>広場利用者、駅前通沿道の接続ビル、札幌駅前通地下広場のスタッフなどが災害時にどのように対応すべきか確認し、災害時の対応能力の向上を図ることができた。</p>	<p>○施設の維持管理については、良好に行われている。</p> <p>○利用者の安全面については、図面等を確認するとともに現場確認を行っていた。</p> <p>○要求水準(1回/日)を超える頻度(2回/日)で清掃を実施しており、景観を重視する本施設において、より清潔な状況が保たれていること、また、清掃員が景観に配慮した制服を着用するとともに、観光マップ等を携帯するなど、工夫が見られ、高く評価できる。</p> <p>○防災研修や社内研修を実施するのみならず、一時退避場所として近隣商業施設の避難訓練に施設を提供し、自らも訓練に参加するなど、地域の防災の取組を先導する役割を率先して担っている点は、高く評価できる。</p>

<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 周辺施設・事業者と連携した札幌の魅力・活力向上に関する業務</p> <p>当施設及び周辺施設を会場に、サッポロフラワーカーペットを開催した。例年多くの市民ボランティアが参加し制作を行っていたが、令和3年度は規模を縮小した上で、カーペットの制作をスタッフのみで行い、開催した。</p> <p>当施設にある北海道に現存する最古の街路樹である29本のイチョウ並木を光で演出したアカブライルミネーションを開催した。また今年度も、「札幌市医療従事者応援プロジェクト」に賛同し、「ブルーライトアップ」にも取り組んだ。</p> <p>▽ イチョウ並木及び木塊舗装等の歴史的資産の活用に関する業務</p> <p>イチョウ並木及び木塊舗装等は、日本土木学会の土木遺産に認定されており、これらの歴史的資産を広く広報する必要がある。これらについては、活用パンフレットやインターネット上で積極的な情報発信等を実施した。また冬の景観づくりの一環として、イルミネーションを実施した。</p> <p>▽ その他広場の設置目的を達成するために必要な業務</p> <p>広場利用に向けての協議・調整は、利用者とともにイベントをつくりあげていくことをモットーに、丁寧に実施した。広場の使用承認申請書の提出後、具体的な内容を確認するため、イベント実施概要・レイアウトの他、予め定める広場の利用基準に合致しているかを確認するチェックシートも提出してもらい、利用して行く流れとした。広場の価値向上を高めるために必須であると考えている。利用者とは、事前に新型コロナウイルス感染防止対策の確認をチェックリストを用いながら十分に打ち合わせることで、当日のイベントが円滑に行えるように取り組んだ。さらに新型コロナウイルス感染対策チェックリストは、感染状況に応じて随時改訂し、利用者が基本的な感染対策ができるようにした。</p>	<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年取り組んでいる事業の多くが中止となったが、できる範囲の中で、広場の設置目的を達成するための事業を効果的に運営した。またコロナ禍でのイベントを円滑に行えるようにするため利用者に対して明確なチェックリストを提示することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>○設置目的を達成するために、自主的な企画の実施はもちろん、一般の利用にあたって、施設の設置目的や景観に十分配慮した運営がなされるよう、利用者との連携を密にようにするため利用者に対して明確な実施に向けた調整を進めていた。</p> <p>○令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で広場利用に難しさがあったが、独自に作成したチェックリストを用いて、感染防止対策を行いながら、厳しい状況下でも広場利用の機会を作り出したことは、高く評価できる。</p> <p>○イルミネーションについては、ホワイトイルミネーションとの連携にとどまらずブルーライトアップにも取り組んでおり、高く評価できる。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>○設置目的を達成するために、自主的な企画の実施はもちろん、一般の利用にあたって、施設の設置目的や景観に十分配慮した運営がなされるよう、利用者との連携を密にようにするため利用者に対して明確な実施に向けた調整を進めていた。</p> <p>○令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で広場利用に難しさがあったが、独自に作成したチェックリストを用いて、感染防止対策を行いながら、厳しい状況下でも広場利用の機会を作り出したことは、高く評価できる。</p> <p>○イルミネーションについては、ホワイトイルミネーションとの連携にとどまらずブルーライトアップにも取り組んでおり、高く評価できる。</p>																																		
A	B	C	D																																							
<p>○設置目的を達成するために、自主的な企画の実施はもちろん、一般の利用にあたって、施設の設置目的や景観に十分配慮した運営がなされるよう、利用者との連携を密にようにするため利用者に対して明確な実施に向けた調整を進めていた。</p> <p>○令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で広場利用に難しさがあったが、独自に作成したチェックリストを用いて、感染防止対策を行いながら、厳しい状況下でも広場利用の機会を作り出したことは、高く評価できる。</p> <p>○イルミネーションについては、ホワイトイルミネーションとの連携にとどまらずブルーライトアップにも取り組んでおり、高く評価できる。</p>																																										
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度計画</th> <th>R3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全面</td> <td>日数</td> <td>2</td> <td>47</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">半面</td> <td>日数</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免2件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>写真等を多用したパンフレットを作成し、広場を利用したことがない方やインターネットが見られない方もわかりやすいものとし、随時更新をした。ホームページについては、お問い合わせのあるイベントスケジュールの充実化を図った。</p>			R2年度実績	R3年度計画	R3年度実績	全面	日数	2	47	10	人数(人)				稼働率(%)				半面	日数	1	4	0	人数(人)				稼働率(%)				<p>令和3年度については、感染症の感染拡大の影響からイベントのキャンセルが相次いだものの、イベントを実施された利用者のアンケートからは次も利用したいとの意見もいただいております、次につながる結果が得られた。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>○広場利用の件数自体は少ないものの、コロナ禍においても屋外のオープンスペースとして役割を果たしており、各種業務は適切に行われていた。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>○広場利用の件数自体は少ないものの、コロナ禍においても屋外のオープンスペースとして役割を果たしており、各種業務は適切に行われていた。</p>			
		R2年度実績	R3年度計画	R3年度実績																																						
全面	日数	2	47	10																																						
	人数(人)																																									
	稼働率(%)																																									
半面	日数	1	4	0																																						
	人数(人)																																									
	稼働率(%)																																									
A	B	C	D																																							
<p>○広場利用の件数自体は少ないものの、コロナ禍においても屋外のオープンスペースとして役割を果たしており、各種業務は適切に行われていた。</p>																																										

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ウェブアクセシビリティ取組確認を実施し、令和4年3月8日に公開した。</p> <p>▼ホームページ運用にあたっては、札幌市公式ホームページガイドラインを参考に運用したほか、ウェブアクセシビリティについては、JISX8341-3:2016の適合レベルに準拠できるように改修を行った。</p> <p>▼HPのコンテンツ充実に取り組んでいる。(令和3年度閲覧数:278,502件。1日の平均閲覧数:763件 令和2年度は1日平均閲覧数:300件)</p> <p>▼新聞社に協力いただき、北3条広場で開催されるイベントのうち公益性のあるイベントについては、情報を新聞に掲載していただいている。観光情報雑誌に施設やイベント等について掲載いただいた。</p> <p>▼当社で発行するメールマガジンでもイベント情報の発信を行った。</p> <p>▼施設への視察についても感染状況を見据えながら受け入れた。</p> <p>▼地下広場内に設置しているインフォメーションボードには、北3条広場のイベント情報も掲載した。</p> <p>▼北3条広場に関する記事(国内・国外向け)も執筆し、施設の普及啓発を進めた。</p> <p>▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>HPを段階的に充実させることができた。HPにおける情報提供の充実化やイベント時のマスコミと連携したPRについては、引き続き行っていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 166 1406 203">A</th> <th data-bbox="1406 166 1459 203">B</th> <th data-bbox="1459 166 1513 203">C</th> <th data-bbox="1513 166 1552 203">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1352 203 1552 679"> <p>○北3条広場のHPにおける情報提供の充実化を図り、アクセシビリティに配慮しながらイベントの広報に積極的に取り組んだことで、HP閲覧数が前年度の2倍を超え、コロナ禍以前の水準(平成30年度273件/日)をも大幅に上回っていることは高く評価できる。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1352 679 1552 968"> <p>○新聞や雑誌への情報掲載や記事執筆など、様々な媒体を用い、要求水準以上に積極的な情報提供を行っている点については、高く評価できる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>○北3条広場のHPにおける情報提供の充実化を図り、アクセシビリティに配慮しながらイベントの広報に積極的に取り組んだことで、HP閲覧数が前年度の2倍を超え、コロナ禍以前の水準(平成30年度273件/日)をも大幅に上回っていることは高く評価できる。</p>				<p>○新聞や雑誌への情報掲載や記事執筆など、様々な媒体を用い、要求水準以上に積極的な情報提供を行っている点については、高く評価できる。</p>			
	A		B	C	D										
<p>○北3条広場のHPにおける情報提供の充実化を図り、アクセシビリティに配慮しながらイベントの広報に積極的に取り組んだことで、HP閲覧数が前年度の2倍を超え、コロナ禍以前の水準(平成30年度273件/日)をも大幅に上回っていることは高く評価できる。</p>															
<p>○新聞や雑誌への情報掲載や記事執筆など、様々な媒体を用い、要求水準以上に積極的な情報提供を行っている点については、高く評価できる。</p>															

2 自主事業その他		A	B	C	D
▽ 自主事業	<p>広場における撮影事業 広場は、札幌のメインストリートである札幌駅前通と歴史的観光資源である北海道庁赤れんが庁舎の間に位置しており、札幌で初めて舗装道路が整備された歴史的価値の高い場所で、この魅力ある場所を日々発信するため、協力いただく北海道放送株式会社に撮影場所を提供。広場のイベントを適時紹介いただいた。</p> <p>ロケーション撮影事業 広場は、札幌のメインストリートである札幌駅前通と歴史的観光資源である北海道庁赤れんが庁舎の間に位置しており、札幌で初めて舗装道路が整備された歴史的価値の高い場所である。広場での商業利用撮影の希望は多いものの、短時間での撮影であることから、広場の利用料金を払えないパターンも多くみられたため、こうした商業利用の撮影については料金を設定した。今年度は18件の利用があった。利用料：138,600円</p> <p>利用者の利便性向上事業(電源設備整備) 広場は、今後多種多様なイベントが入ることが想定されることから、イベント業者の利便性を高める上で、電源設備を設置し、利用者から電源設備利用料を徴収した。利用料：75,174円</p> <p>アカプラテイクアウト～みんなのテラス席プロジェクト～ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い需要が高まっているテイクアウト食品の販売支援と駅前通地区のオフィスワーカー等の来街者をつなぐことを目的とした事業である。 令和3年度は季節に応じた料金設定を取り入れた。出店事業者からは、景観が良く、気持ちよく出店することができたほか、立地が良いため、多くの人目に触れやすいという感想をいただいた一方、緊急事態宣言下などは人の流れ(特に観光客)が少なく、売上にはつながらなかったという意見もいただいた。利用料：376,200円</p> <p>SAPP_RO Flower Carpet 2021 例年の市民ボランティアの「参加型」ではなく、事前の健康チェックを受けた限られた人数によって制作を行い、イルミネーションのような「鑑賞型」のイベントとして実施。会期中が緊急事態宣言期間となってしまったため、実行委員会スタッフのみでの制作となった。ご来場いただけない方も楽しめるように「オンラインフラワーカーペット」のサイトを開設し、制作中の動画の配信等も実施した。会場では密になるような状況は生まれず、2年ぶりに開催されたフラワーカーペットを楽しんでいる様子が見られた。</p> <p>アカプライルミネーション2021-2022 アカプラにある北海道に現存する中で最古の街路樹である29本のイチョウ並木を光で演出し、3色のLEDを用いたイルミネーションを設置し、光の変化を楽しめるものとした。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、例年開催している多くの事業は中止となりましたが、バーチャル空間の構築といった新たな取組も実施した。次年度以降は安全が確保された段階で、賑わい創出を伴う事業も検討していきたい。今後共、利用者の参考となるような企画制作に努めて行きたい。</p>	<p>○指定管理者自ら企画、運営する事業により、広場の設置目的である、「都心全体のにぎわい創出、集客交流の活性化と独自の都市文化の創造を促進し、もって札幌の魅力と活力」を高めることに、大きく貢献している。</p> <p>○2年ぶりに開催したフラワーカーペットについては、コロナ禍を踏まえ、規模を最小限にし、オンラインサイトを開設することで、リモートでも楽しめる環境を整えていた点については高く評価している。</p> <p>○令和2年度に広場の新たな活用方法として導入したキッチンカーやバーチャル空間について、継続・発展に取り組んだことは、施設の設置目的の達成に貢献するものであり、その意欲について高く評価している。</p>		

<p>『Sapporo City Wi-Fi』運用事業 当施設においても札幌市で実施している「Sapporo City Wi-Fi」を導入し運営した。(利用料は無料)</p> <p>PARALLEL SAPPORO KITA3JO 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大規模なイベントは縮小・中止が余儀なくされ、イベントの消失、アーティストの活動場所の消失などリアル空間での活動制限により地域活動も低迷しており、「賑わいの創出」だけでなく、ウィズコロナにおける広場の活用方法の検討が必要である。 そのため当社と民間事業者が連携してバーチャル空間「PARALLEL SAPPORO KITA3JO」を開設し、距離や時間・環境の制約なく安全に往来できる公共空間を構築し、地域の価値を維持・向上させる新しいエリアマネジメントの実現に向けた新たな取組として運用開始した。 令和3年度は、2つの企画をバーチャル空間上で展開し、コロナ禍におけるイベント実施の在り方を提示した。またバーチャル空間を活用した地域の子どもを対象にしたワークショップも行なった。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>業務委託やイベント実施をする場合には、可能な限り市内企業や団体に協力を得ている。</p>	<p>指定管理業務に関する委託は市内に事業所を持つ企業に発注した。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

3 利用者の満足度						
▽ 利用者アンケートの結果						
		利用者アンケートを 実施し、意見・要望 に基づき、次年度以 降の企画の参考と した。 イベントが少なかっ たため、今年度は 自主事業のアン ケートの内容も記載 した。 アンケートの結果を もとにより良い運営 につなげていき たい。	A	B	C	D
実施方法	北3条広場利用者を対象とし、広場利用者の満足度や意見、要望について調査するもの。 ①広場利用終了後メールでアンケートを送付し、後日回収。 (ロケーション撮影等での利用者は除く) ②自主事業「アカプラテイクアウト～みんなのテラス席プロジェクト」の出店者からの要望等を把握するために、出店後にウェブアンケートを実施。 ③自主事業「サッポロフラワーカーペット」の参加者からの要望等を把握するために、開催後にウェブアンケートを実施。					○仕様書に定め例年実施している利用者アンケートについては十分な回答数が確保できなかったが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ないものである。
結果概要	▽アカプラを利用して、その効果はいかがでしたか？ ①主催者：とても高い 【理由】札幌都心部における美しい景色が全世界に放映できたため。 ②出店者：とても良い/良いと回答した方は9件(全体の64%) ③来場者：今後もまた来場したいと回答した方は6件(全体の100%) ▽当施設の職員の接遇についてどう思いますか？ ①主催者：とても良いと回答した方は1件(全体の100%) ②出店者：とても良い/良いと回答した方は14件(全体の100%)					
利用者からの意見・要望とその対応	①主催者：特になし ②出店者：広告・宣伝等をもう少し活発に実施してほしい。 発電機の音が気になるため、電源を使えるようにしてほしい。 集客数・売上と利用料が見合わない。 →2022年度は利用料金を1日2,200円に変更 ③来場者：特になし					

4 収支状況				新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、利用休止期間が長期に渡ったことにより、減収となった。次年度以降も新型コロナウイルス感染症により広場の利用状況にも影響が出ることが想定されるため、経費の計画的な支出に努めていきたい。	A	B	C	D
▽ 収支 (千円)								
項目	R3年度計画	R3年度決算	差(決算-計画)					
収入	17,821	28,942	11,121					
指定管理業務収入	17,026	28,352	11,326					
指定管理費	5,690	5,690	0					
利用料金	11,336	2,161	▲ 9,175					
その他	0	20,501	20,501					
自主事業収入	795	590	▲ 205					
支出	29,336	26,138	▲ 3,199					
指定管理業務支出	23,984	22,341	▲ 1,644					
自主事業支出	5,352	3,797	▲ 1,555					
収入-支出	▲ 11,515	2,804	14,319					
利益還元	0	0	0					
法人税等	70	1,257	1,187					
純利益	-11,585	1,547	13,132					
▽ 説明								
<p>▼ 利用料収入は、計画よりも9,175千円減となった。その要因として新型コロナウイルス感染症が拡大した影響から、5月上旬から9月末にかけて広場利用休止としたほか、拡大防止の観点からキャンセルが発生したことによる。</p> <p>▼ 自主事業収入は、広場利用休止に伴い、電気設備の利用がなかったことから、計画より205千円減となった。</p> <p>▼ 指定管理業務支出は、広場利用休止期間はあったものの、施設は開館していたことから、清掃業務や電気設備点検にかかる費用は予定どおり支出した。一方、冬期の除排雪費については、12月～3月にシーズン契約で除雪を委託したほか、排雪作業も実施した。一部経費の見直し等により効率的な縮減を行い、計画より1,644千円の減となった。</p> <p>▼ 自主事業については、当初計画より費用が削減されているが、地域の企業や関係各所と連携して事業を実施したことや一部事業を取りやめたことによる。</p> <p>▼ 自主事業は収入590千円、支出3,797千円で計3,207千円の赤字となった。この赤字については、指定管理業務を除く当社事業の黒字で補填している。</p> <p>▼ その他収入20,501千円は、利用キャンセル及び休館に伴う札幌市からの補填(対象期間: R2.6.1～R2.12.31、R3.5.6～R3.7.11、R3.7.22～R3.9.30)であり、結果として純利益については黒字となった。</p>								

<確認項目> ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持		適 不適
<p>▼ 当団体の財務状況等は、コロナ禍のため売上が減少したものの費用の縮減等で、安定経営能力は維持している。</p>		
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応		適 不適
<p>▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。</p> <p>▼ 情報公開請求はなかった。</p> <p>▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。</p>		

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>北3条広場の指定管理者として、広場の魅力を高められるよう、コンセプトに合ったイベントの誘致や自主事業の実施により、広場の目標像を広く共有するとともに、居心地の良い落ち着いた雰囲気や、景観を活かした札幌の美しさを感じられる空間の創出のため、適切な維持管理・運営を行った。しかし前年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大に伴い、広場の利用状況にも大きく影響が出た。来場者の感染対策として、利用者とは、事前に新型コロナウイルス感染防止対策の確認を十分に打ち合わせることで、当日のイベントが円滑に行えるように取り組むなどの管理運営に取り組んだ。また東京2020オリンピックのマラソンコースとしても当施設は利用されたことから、主催者との綿密な打ち合わせを行ったほか、混雑が予想される近隣商業施設や札幌駅前通沿道ビルへの情報提供等を密に行った。イベント外での日常利用のあり方として、キッチンカー事業を行い、地域の方々から活用された。またXR空間を構築し、2つの企画をバーチャル空間上で展開し、コロナ禍におけるイベント実施の在り方を提示した。</p>	<p>来年度以降も新型コロナウイルス感染拡大の影響は生じるものと想定されるが、今後もお客様に安心して広場をご利用いただけるよう様々な施策や情報発信を継続して行いたい。また、お客様の気持ちに寄り添った対応を心掛けることで、広場利用の満足度を高めていきたい。札幌駅前通地下広場と北3条広場が一体となって賑わいの創出を図ることが求められることから、二つの施設の管理者として地下・地上の両方を使用していただけるような利用促進を図っていきたい。また、利用者側の立場にたち、利用者の意見もフィードバックしつつ、質を確保できるような貸出方法を検討していきたい。利用者の安全性に配慮しながら、屋外の公共空間としての役割を果たせるよう、適切に管理を進めていきたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>法令及び業務仕様書に従い、適切な施設運営を行っている。施設環境を清潔に保つために丁寧な清掃を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下でもイベントを円滑に行えるよう、利用者と緊密な調整を行い、空間の質の確保や景観、利用者の安全性に十分に配慮して、広場の管理運営にあっていた。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中においても、従業員の労働環境への配慮は十分に行われていた。さらに、ウィズコロナにおける広場の活用方法としてバーチャル空間を活用したイベントを具体化した。こうしたきめ細かで安定した管理運営や意欲的な姿勢を高く評価する。</p>	<p>市民が憩うオープンスペースとしての役割を果たしながらも、感染防止対策を十分に行ったうえで、広場の魅力を高め都心のにぎわい創出につながるイベントの誘致や自主事業の実施に関して、より一層積極的に取り組んで頂くよう期待する。また、広場の供用開始から8年が経過し、設備の消耗・劣化等が見込まれるため、引き続き適切な維持管理に努めて頂きたい。</p>